

実施年度	実施主体	対象獣種
R8～R9	清里町農作物鳥獣被害防止対策協議会	シカ

現状・課題

近年は有害鳥獣による農作物被害が深刻化しているものの、その生息地域や農地への侵入経路の把握については、被害農家や猟友会員の経験と勘に依存している状況にある。

事業概要

これまで猟友会会員等の経験と勘に依存していた捕獲情報をデータ化・分析し、効率的な捕獲を実施するため、

- ・リモートセンシングによる圃場の被害面積調査、ドローンによるシカの個体数調査、自動撮影カメラによる国有林付近の生息状況調査、
- ・調査結果を踏まえた効率的な捕獲地の選定、
- ・捕獲データ（日、位置、数等）の整理と可視化、
- ・経年の被害調査結果と捕獲・柵の位置情報を比較した対策の効果の点検、生息状況調査を踏まえた生息数の増減の把握を実施。

更に、現行の捕獲体制（捕獲者の年齢構成や実績等）を整理した上で、地区ごとの捕獲体制の構築を検討。

活用機器 ※交付金活用外の機器を含む

- ・自動撮影カメラ
- ・サーモカメラ付きドローン

モデル地区の普及範囲

成果発表会や管内協議会において、成果を共有

【イメージ】

